

【会長賞：小学生の部】

「わたしのおとうと」

富山県・高岡市立福岡小学校
2年 平野 花音 さん

「のんちゃん、だーいすき。」

わたしのおとうとがよく言ってくれる言ばです。

わたしのおとうとは、わたしが1さい10か月のときに生まれました。名前は、れおんと言います。

おとうとは、けいどのちてきしょうがいがあります。ほいくえんに行きながら、月2回りょういくへ行っているいろいろおそわっています。いつもがんばっていついて、かえってきたときは、

「今日は、ねんどをしたよ。」

と、うれしそうにしてきたことを話してくれます。

わたしは、おとうとが小さいときに一どいっしょにはったつそうだん会へ行ったことがあります。おとうとは話せる言ばが少なかったのでママがほけんしさんにそうだんしているあいだ、わたしはおとうととあそんでいました。すると、ほけんしさんが、

「小さなことでもたくさんほめてあげるとできることもふえるし、話せる言ばもたくさんふえるよ。」

と、教えてくれました。

それからわたしは、おとうとのおせわやいっしょにあそんでいるときには、少しでもなにかできたことがあったら、

「れおん！すごいね、じょうずだね。」

とほめています。今ではおとうとはできることもふえてきて、たくさんお話もできるようになってきました。

おとうとは、しょうがいはあるけどできないことばかりではありません。ほかのおともだちより時間はかかるけど、おとうとのペースでいろんなことにちょうせんして一つ一つできることをふやしています。

来年、おとうとは小学生になります。おとうとにはたのしい小学校生活をおくってほしいです。まわりのみんなもしょうがいのある子だとおもわず、なかよくしてほしいです。

わたしは、れおんがわたしのおとうととして生まれてきてくれてうれしいで

す。これからもおとうとがこまったとき、たすけてあげたいしずっとなかよしで
いたいです。

「のんちゃんもだーいすきだよ。わたしのおとうとに生まれてきてくれてあり
がとう。」